

## 長野県大鹿村と上村のコメツキムシ若干種について

大平 仁夫\*

Some elaterid-beetles on Ôshika-mura and Kami-mura in Inadani Province  
of Nagano Prefecture, Honshu, Japan.

Hitoo Ôhira\*

\* 〒444-3511 岡崎市舞木町狐山6-4

長野県下伊那郡大鹿村と上村において、1996年7月20～24日に採集したコメツキムシ類を21種記録した。このうちの2種は長野県から未知で、12種は伊那谷から未記録と思われる種であった。

キーワード 甲虫目, コメツキムシ科, 伊那谷, 分布

ムナビロサビキコリ

### 1. はじめに

筆者は1996年7月20-24日の間、長野県伊那谷の大鹿村と上村において、若干のコメツキムシ類を採集することができたのでここに記録する。大鹿村では大河原の温泉保養センター赤石荘に滞在して主として小渋川流域と青木川流域で、上村では下栗の里の高原ロッジ下栗に滞在して、主として高原ロッジから‘しらびそ峠’周辺で採集をし、両地では夜は夜間灯火採集も実施した。

ここで得られた種の中には、特筆するようなものはいなかったが、伊那谷のコメツキムシ類についての記録は少ないので、この小文がこの地域の今後の分布相の解明に多少でも役立てば幸いである。なお、ここに記録する種の採集者はすべて大平本人である。

### 2. 種の目録

#### 1. *Lacon (Alaotypus) maeklinii* (Candèze, 1865)

オオサビコメツキ (図1 A)

標本 : 2 exs., 上村下栗の里, 20-22. VII. 1996.

北海道から九州に至る各地の山林に広く分布する種である。長野県からは古く G. Lewis が和田峠産を記録。最近では有本 (1988) が辰野町横川溪谷と山口村田立から、輿水 (1993) が佐久市双子山から記録しているが、伊那谷地方からはこれが最初の記録と思われる。灯火に飛来した。図は体長15mmの個体。

#### 2. *Agrypnus (Agrypnus) cordicollis* (Candèze, 1865)

標本 : 1♂, 上村しらびそ峠, 20-22. VII. 1996;  
1♀, 大鹿村大河原, 23-24. VII. 1996.

北海道から九州に至る各地の山林に広く分布する種である。伊那谷地方からは宮沢・鈴木 (1984) が上村赤石林道から記録している。

#### 3. *Pectocera fortunei fortunei* Candèze, 1873

ヒゲコメツキ

標本 : 1♂, 上村下栗の里, 20-22. VII. 1996.  
北海道 (札幌以南) から九州にかけての広葉樹林に広く分布する種である。伊那谷地方からは宮沢・鈴木 (1984) が南信濃村梨元から記録している。

#### 4. *Denticollis versicolor* (Lewis, 1894)

メスグロベニコメツキ

標本 : 1♀, 上村しらびそ峠, 20-22. VII. 1996.  
本州の中部地方から青森県にかけての山岳地帯に分布する種である。上伊那郡から古く丸毛 (1934) が記録しているが、詳しい産地は不明である。長野県からの他の地域では有本 (1988) や輿水 (1993) が記録している。

#### 5. *Stenagostus umbratilis* (Lewis, 1894)

オオツヤハダコメツキ

標本 : 17exs., 上村下栗の里, 20-22. VII. 1996;  
1ex., 大鹿村大河原, 23-24. VII. 1996.  
北海道から九州に至る広葉雑木林に分布する普通種

である。伊那谷地方からは宮沢・鈴木（1984）が阿南町から記録している。

6. *Harminius nihonicus* Kishii, 1979

ニホンムネスジダングラコメツキ

標本：1♂，上村下栗の里，20-22. VII. 1996.

本州から九州の各地の山林に広く分布する種であるが、長野県からこの学名で記録されるのは、これが最初と思われる。灯火に飛来した。

7. *Parathous comes* (Lewis, 1894)

チャイロツヤハダコメツキ

標本：1♀，上村下栗の里，20-22. VII. 1996.

体長13mm内外。体が黄褐色～暗黄褐色をした種である。ブナ帯林に分布し、伊那谷地方からは宮沢・鈴木（1984）が上郷町野底から記録している。

8. *Hemicrepidius (Heterathous) desertor* (Candèze, 1873)

ヒメクロツヤハダコメツキ

標本：1♂，上村しらびそ峠，20-22. VII. 1996; 1♂，大鹿村大河原，23-24. VII. 1996.

主として本州の宮城県以西から四国，九州の各地に広く分布する山地性の種で，上翅が黒色でやや青緑色をおびた金属光沢を有し，前胸背板の後角の隆起線は側縁に平行状に生ずるので識別できる。また，ときに上翅が褐色をした型 (var. *brunneipennis* Lewis, 1894) がこの地方に分布しており，上記の個体も褐色型であった。

9. *Fleutiauxellus curatus curatus* (Candèze, 1873)

ミズギワコメツキ (図1 C)

標本：22exs.，大鹿村大河原，21-24. VII. 1996.

体長4-4.5mm内外。体は黒色でやや扁平状をした種である。一般に河原の砂礫中に見出される。長野県からは有本（1988）や興水（1993）などが記録しているが，伊那谷地方からの記録はこれが最初と思われる。

10. *Oedostethus (Oedostethus) telluris* (Lewis, 1879)

クロツヤミズギワコメツキ

標本：5exs.，大鹿村大河原，24. VII. 1996.

河川敷の柳などの葉上をビーテングして見出した。長野県からは記録があるが，伊那谷地方からはこれが最初と思われる。

11. *Oedostethus (Menoko) nitidus* (Fleutiaux, 1903)

オオクロツヤミズギワコメツキ (図1 D)

標本：1♂1♀，上村しらびそ峠，20-22. VII. 1996.

体長は4mm内外。前種に類似しているが体は太く，上翅の条線は浅く印し，間室部は扁平状である。また，肢の爪の基部内側部は膜状に伸展する。長野県からこれが最初の記録であるが，類似種が他にいたので詳しくはさらに多くの個体数を得て再調査をしたいと考えている。

12. *Ectamenogonus robustus* (Kishii, 1966)

フトナガコメツキ (図1 B)

標本：1♂，大鹿村大河原，20-22. VII. 1996.

北海道から九州の各地に分布が知られているが，個体数は多くない。触角の第3節が第2節より細長く，円筒形状をしているので近似種とは識別できる。長野県からはこれが最初の記録と思われる。図は体長15mm.

13. *Procrærus (Agaripenthes) helvolus* (Candèze, 1873)

ヒメホソキコメツキ

標本：1♂，上村下栗の里，20-22. VII. 1996; 1♂，大鹿村大河原，24. VII. 1996.

体長4mm内外の小形で淡黄色をした種である。北海道から九州にかけて広く分布しているが，長野県からの記録はまだないようである。ネムの花上から得た。

14. *Hayekpenthes pallidus pallidus* (Lewis, 1894)

ホソツヤケシコメツキ

標本：2♂，上村下栗の里，20-22. VII. 1996.

長野県からは高橋（1987）が開田駒ノ湯から，有本（1988）が天竜村や南木曾町から記録しているが，伊那谷地方からはこれが最初と思われる。暖地性の種である。

15. *Ampedus (Ampedus) optabilis optabilis* (Lewis, 1894)

オオアカコメツキ

標本：1♀，大鹿村大河原，23-24. VII. 1996.

体長は14mm内外。上翅が赤褐色で，触角と肢は黒色～黒褐色で，前胸背板がオパール色の光彩を有する。伊那谷地方からは宮沢・鈴木（1984）が南信濃村梨元から記録している。

16. *Ampedus (Ampedus) japonicus japonicus* Silverberg, 1977

アカアシクロコメツキ

標本：1♀，上村下栗の里，20-22. VII. 1996.

体長は9mm内外で黒色。肢が赤褐色をした種である。

長野県からは有本(1998)や輿水(1993)などにくつかの産地の記録があるが、伊那谷地方からの記録はまだないようである。

17. *Reitterelater rugipennis* (Lewis, 1894)

アラハダチャイロコメツキ

標本: 1♂, 上村下栗の里, 22. VII. 1996.

体長は12mm内外。体は暗褐色で、触角と肢は褐色。前胸背板の後角には各2本の隆起線を有する。古い記録では *Ectamenogonus* 属の種として記録されている。長野県からはこれが最初の記録と思われる。灯火に飛来した。

18. *Ectinus longicollis* (Lewis, 1894)

ムネナガカバイロコメツキ

標本: 6♂3♀, 上村しらびそ峠, 20-22. VII. 1996.

長野県では山岳地の森林に広く分布する種であるが、伊那谷方からはこれが最初の記録と思われる。

19. *Ectinus insidiosus* (Lewis, 1894)

キアシクロムナボソコメツキ

標本: 1♀, 上村しらびそ峠, 20-22. VII. 1996.

本州、四国、九州の山地に分布する種である。長野県からは有本(1988)や輿水(1993)も記録しているが、伊那谷地方からはこれが最初と思われる。

20. *Paracardiophorus pullatus pullatus*

(Candèze, 1873) コハナコメツキ (図1 E-L)

標本: 35exs., 大鹿村大河原, 24. VII. 1996.

河川敷の砂礫中や荒地にいる種である。小渋川の河原に生えている小灌木などから得た。伊那谷地方からは宮沢・鈴木(1984)が上郷町野底から記録している。類似種があるので同定は簡単ではないが、図示したような雄交尾器(J)や雌内部生殖器(K, L)などは種の特徴がよく現れている。

21. *Paracardiophorus opacus* (Lewis, 1894)

クロハナコメツキ

標本: 1♂2♀, 大鹿村大河原, 14. VII. 1996.

山地の溪流沿いの砂礫中に分布する種である。長野県からは記録があるが、伊那谷地方からはこれが最初の記録である。体長は7mm内外。

### 引用文献

有本久之, 1988, 長野県のコメツキムシ. まつむし, (77), 1-26, 5pls.

輿水太伸, 1993, 長野県のコメツキムシの記-佐久地方を中心にして-. *New Entomol.* 42 (3, 4), 13-16.

Lewis, G., 1894, On the Elateridae of Japan.. *Ann. Mag. Nat. Hist.*, 13, (6) 26-48.

丸毛信勝, 1934, 長野県上伊那郡昆虫調査書, 77pp. (上伊那郡教育会編纂)

宮沢 豊・鈴木 互, 1984, 長野県下伊那で採集したコメツキムシ. まつむし, (68), 13-16.

高橋 敬, 1987, 木曾谷および周辺の甲虫の記録. 佳香蝶, 39 (150), 21-22.

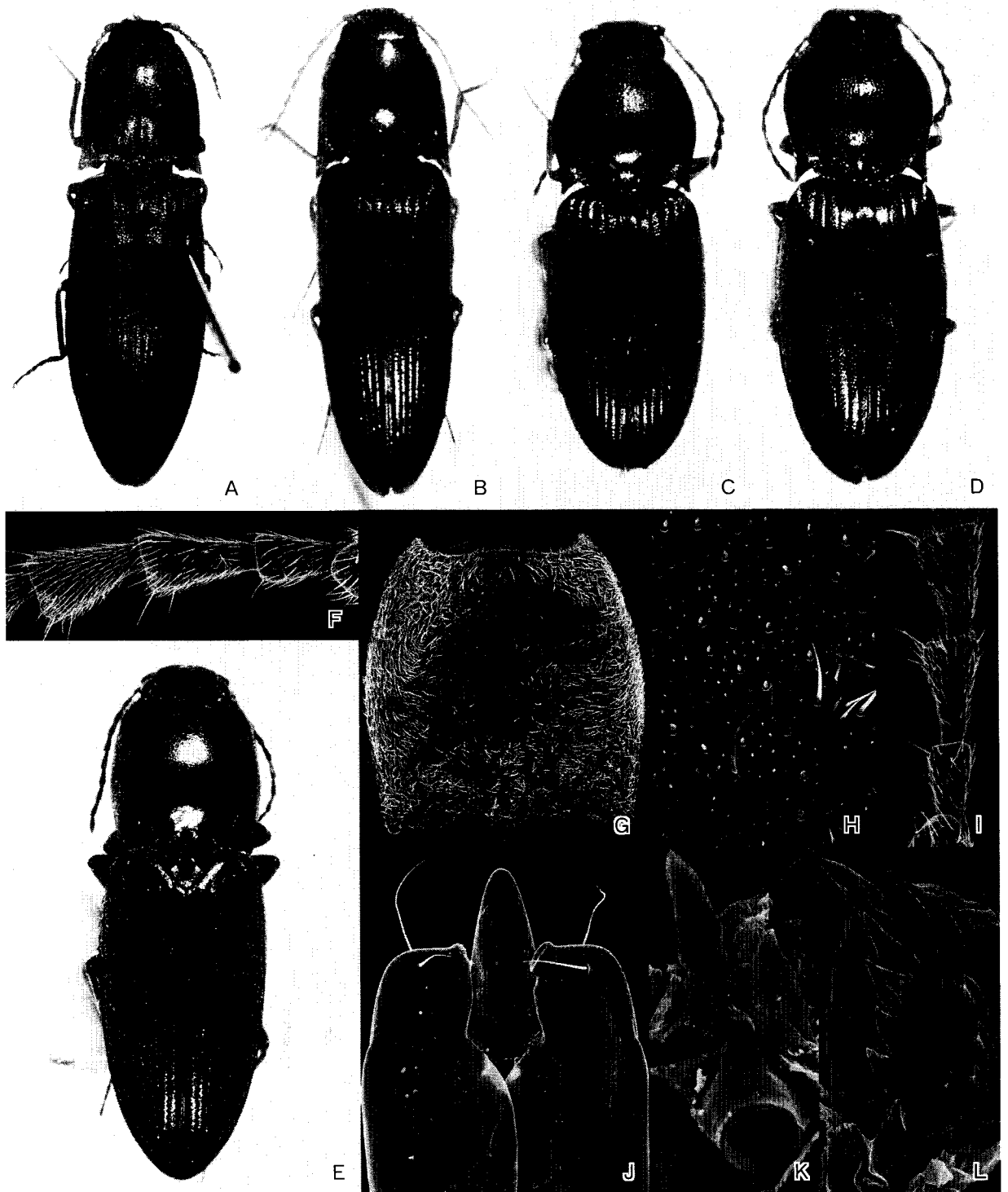


図1 A, オオサビコメツキ♂; B, フトナガメツキ♂; C, ミズギワメツキ♂; D, オオクロツヤミズギワメツキ♀; E-L, コハナメツキ♂ (E, I, K, Lは♀); E, 成虫; FとI, 触角の第2-4節; G, 前胸背板; H, 前胸背板上の点刻; J, 雄交尾器の末端部, 背面; KとL; 雌内部性殖器内の小硬片.